

中小製造業の社長ら出演

『未来シャッター』2周年

ワップフィルム(東京都大田区、高橋和勸理事長、03・3573・5692)が製作した映画『未来シャッター』が2年のロングランを迎える。高橋理事長自身が監督を務め、東京都大田区、同墨田区、神奈川県藤沢市を舞台に、製造業の社長などさまざまな職業の人々が役者を務めた。限られた場所での上映にもかかわらず、いまだ人気は衰えない。商店街に溶け込む上映拠点に奮闘した。

(南東京・門脇花梨)



キネマ通り商店街にたなすむキネマフューチャーセンター(東京都大田区)

「映画で人を幸せに」

ワップフィルム



ワップフィルム「未来シャッター」の制作陣がオープニングで出迎えてくれた

鑑賞後に対話、価値再創造

京急蒲田駅を降りて5分ほど歩くと、商店街「キネマ通り商店街」が見えてくる。精肉店など昔ながらの店が並ぶ同商店街を進むとたどり着くのが「キネマフューチャーセンター」だ。月2回ある同映画の上映日は高橋理事長と菊地真紀子プロデューサーが笑顔で出迎えてくれる。

この映画は現在の社会に生きづらさを感じる青年らが、さまざまな人間との関わりを通じて変わっていくストーリー。下町ボクストリートネットワークプロジェクト推進委員会初代委員長の細貝淳一、マテリアル社長や、コマ対戦の「おかしら」を務める緑川賢司、ナロ社長をはじめとする、多様な背景、真剣な表情の若者が、さまざまな人間との関わりを通じて変わっていくストーリー。下町ボクストリートネットワークプロジェクト推進委員会初代委員長の細貝淳一、マテリアル社長や、コマ対戦の「おかしら」を務める緑川賢司、ナロ社長をはじめとする、多様な背景、真剣な表情の若者が、さまざまな人間との関わりを通じて変わっていくストーリー。



特別出演 緑川賢司

情でモノづくりに挑戦している社長たちの、初ど、さまざまなことを取り組むという自由な語り合っ。映画で話し合いをする中、たとえ振り返る。

制作の過程でプロフェッショナルの力も自然と集結してきた。音響は東京都大田区在住の作曲家、ヒナリストの川崎ろまんさんが担当。アーティストも巻き込んだ地域の活性化につながった。

川崎さんは「監督に話を聞きながらその場で音をつけた。人の思いは一番説得力がある。町場の廃材で作った楽器の音も使ったので、楽しんでほしい」と笑顔をみせる。



マテリアル社長・細貝さんも出演(©ワップフィルム)

「未来シャッター」は、ワップフィルムが運営する「イーカフェ」や「イーワークスペース」など、空き家を利用したインキュベーション施設で制作された。地域活性化拠点として存在意義を示している。

映画はキネマフューチャーセンター以外でも、企業の研修などさまざまな場所での上映実績がある。その会場は2年間で100カ所を超えた。高橋理事長は「一人を幸せにする映画を作りたい」と思っ、幸せを分かち合いたが、これを高められれば、その熱い思いを叶える。

映画には製造業や商店街を舞台にしたものが、人の暖かさがちりまぶられていく。キネマフューチャーセンターは、今後も地域経済の活性化拠点であり続ける可能性を十分に持っているとも言える。

全ての人の、心のシャッターを開き、映画館では「幸せ」を贈るべく、高橋理事長と菊地プロデューサーの二人三脚での挑戦は終わらない。

「居場所のない人たちが、居場所を作り、集まるといふ今までのことではないか」と、大塚さん、新井さん、緑川さん、なつていさんの特徴と発想し、「キネマフューチャーセンター」を開設した。

高橋理事長は「鑑賞後の対話を通じて、価値の再創造を行うのが、この場を拠点にした街の未来を語り、実践する」を語り、実践する「フューチャーセッション」を開催するようになった。それが、自然と映画制作につながった。

中核にいた菊地プロデューサーは「こんなのがあったらおもしろいね」と話しながら未来を描いていった。ストーリーを含め、全て話し合いで作った」と振り返る。

大阪イノベーションハブは12月17日に開催する、情報通信技術(ICT)関連サービスを展開する起業家向けコンテスト「ミライノピッチ」の参加者募集を始めた。滞在時間が短いエレベーターの中で、偶然出会った投資家に短時間で事業を説明する機会を想定した。2016年度に続き、2回目。優勝チームは3月に総務省と情報通信研究機構が主催する全国大会へ進出する。近畿地区に在住の学生や、近畿地区に拠点を置く起業家などが対象。当日はピッチコンテストに加え、総務省の取り組み紹介や審査員のアドバイスなどを盛り込む。今後の販路開拓投資金調達へつなげる。問い合わせは大塚イノベーションハブ(06635933004)へ。

◆職場腰痛対策講座(中・中・中) 28日13時50分から、東京都港区の安全衛生総合会館で、明日から役立つ安全衛生実践講座を開催。テーマは「職場における新たな腰痛対策」。東京大学の松本浩特任教授が最新の腰痛対策を紹介する。定員100人で有料。事前の申し込みが必要。問い合わせは関東安全衛生サービスセンター(03・5484846)へ。

日本の未来企業

Vol.91

次の百年を創る

ライフサービス市場刷新

生田利文先生

大学在学中の2006年

テクノロジー

長祐氏



「活110番」

ラットフォームシステムに人工知能(AI)を導入していく構想を持っている。例えば、曜日、季節、天候などの要因で仕事の波が予測できれば、サービス事業者側の人員配置や設備投資がムダなく行

情報(ワッピュ)

◆職場腰痛対策講座(中・中・中) 28日13時50分から、東京都港区の安全衛生総合会館で、明日から役立つ安全衛生実践講座を開催。テーマは「職場における新たな腰痛対策」。東京大学の松本浩特任教授が最新の腰痛対策を紹介する。定員100人で有料。事前の申し込みが必要。問い合わせは関東安全衛生サービスセンター(03・5484846)へ。

2017年4月臨時増刊号 ●定価1,998円(税込) **1冊まるごとレーザ板金加工技術2017** あなたの仕事に役立つ 理工学書・ビジネス書・技術雑誌

●アマダのファイバーレーザマシンにおける最新加工技術—アマダ ●アマダのレーザ加工機に搭載する発振器の機能と特徴 —アマダホールディングス ●アマダのレーザ加工機に関する最新技術とレーザ加工機の効果的な運用方法—トルンプ ●機能解説 ソフトウェア

専門オンラインショップ **Nikkan Book Store** <http://pub.nikkan.co.jp/>